



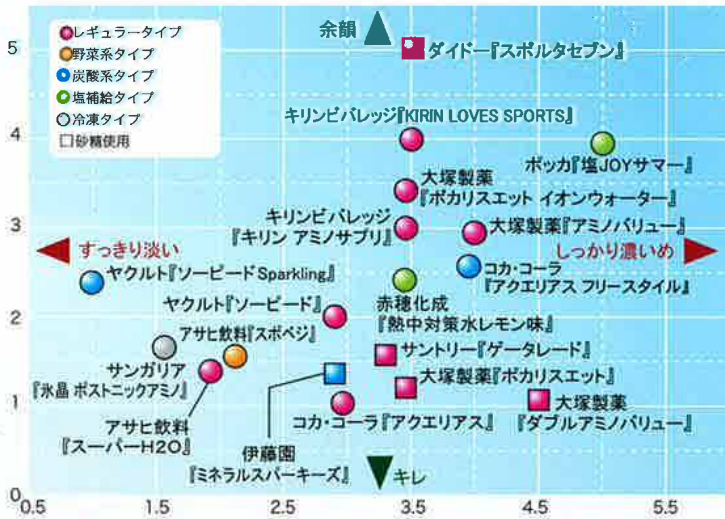
【売れ味、好き味etc. データでわかるヒットのヒミツ】

味の科学ノート

第12回 ■ スポーツドリンク

自分の好きな食べ物・飲み物の「味」を言葉で表現するのは非常に難しいもの。では、それが数値化できるとしたら……。この連載では、「味覚センサー」*などを使って様々な商品を科学的に分析。気になるあの「味」を視覚化します！

運動の後はもちろん、風呂上がりや目覚めの一杯にも最適！ 夏の渴きを癒すスポーツドリンクの味わいは？



2次元グラフ、レーダーチャートは基準サンプル(0)と分析サンプルの味の強弱を数値化し、最大値と最小値を求め5段階に標準化したデータで表示。2次元グラフの「余韻/キレ」は苦味を、「しっかり濃いめ/すっきり濃い」は塩味を使用。レーダーチャートのキレは苦味の逆数を、ミネラル感にはがり系苦味を、味の濃さは塩味を使用した。なお、今回の分析では(特に「ポカリスエット」との比較において)「ポカリスエット イオンウォーター」のポジションが、実際に飲んだ際の印象と異なる可能性がある。これはこの商品の場合、グラフの2軸にはない電解質や甘味料が、人間の舌に特に大きな影響を与えるためと考えられる。商品価格は関東圏の小売店での価格もしくはメーカー希望小売価格であり、別エリアや自販機などでは異なることがあります。

夏真っ盛りということで、今回は、今年新発売/リニューアルされた商品を中心にスポーツドリンクの味を分析する。まずは「風変わった、ニンジン」を原料に加えた野菜系タイプの「スポベジ」。味わいとしてはすっきり・キレのある商品で、飲みやすさと味のバランスの良さを実現している。次に、塩にスポーツライトを当てた塩補給タイプ。濃いめの味わいが特徴だが、塩味が強調されないようにレモンなどの酸味と香りがつけがなされ、飲みやすい工夫がされている。炭酸系タイプでは商品ごとに味が違いがみられ、炭酸による爽快感が加わってレギュラータイプとの違いを明確にしているようだ。ところでおなじみの「ポカリス

エット」と「アクエリアス」の味の違いについては、皆さんも意識していることだろう。だが、左のグラフのポジションも下のレーダーチャートの形も極めて近い。実は両商品の違いは甘さの質にある。「ポカリスエット」は砂糖を使用しているが「アクエリアス」は高果糖液糖(異性化糖で果糖含有率が90%以上)を中心に甘味を出している。一般的に砂糖は、高果糖液糖に比べて口に残りやすい甘味があり、これが数値に表われない「印象としての味の差」になっているものと推測できる。ちなみに左のグラフで右上の領域にある商品はカロリーオフ系が多く、甘味という部分ではライトなタイプだといえる。



アサヒ飲料「スポベジ」500ml

野菜系タイプ

カゴメとのコラボ商品。ベジタブルスポーツドリンクという新ジャンルで野菜を使用した独特の風味。味わいは控えめながらバランスが良くキレが強め。147円





伊藤園「ミネラルスパークィーズ」500ml

炭酸系タイプ

映画「ROOKIES」タイアップ商品。カルシウム・マグネシウムの補給ができる栄養機能飲料。甘味、ミネラル感が強いが、炭酸入りでキレがある。147円





赤穂化成「熱中対策水レモン味」500ml

塩補給タイプ

同社のベストセラーの「天塩」を使用。カロリー0でレモン風味の清涼感と酸味が強い。甘味が強い印象で味も濃いめだが、飲みやすいのが特徴。147円





大塚製薬「ポカリスエット」500ml

日本のスポーツドリンクの草分け的存在。いまでもないロングセラー商品だ。しっかりとした味の濃さと甘味ながらキレを強めた味わいが特徴。147円





コカ・コーラ「アクエリアス」500ml

レギュラータイプ

こちらもおなじみのロングセラー商品。何といってもキレの強さが目立ち、甘味もしっかりしているのが特徴だ。147円





サントリー「ゲータレード」500ml

世界的ブランドの「ゲータレード」がリニューアルで登場。砂糖を使用した商品ながら、甘味は控えめで、キレもあり飲みやすさを訴求している。147円

